

## 福祉学習を行いました（3・4年生）

9月20日（水）に、3・4年生が、加古川市社会福祉協議会の方を講師に招いて福祉学習を行いました。



『ふくし』って何だろう？




子どもたちが、福祉について思い浮かぶことを発表しました。

- 人を助ける仕事
- 介護
- 困っている人を助ける
- からだの不自由な人・障がいのある人の相談窓口
- みんなが幸せに暮らせるようにお手伝いをする



**福祉???**

「福祉（ふくし）」

-  ふだんの
-  暮らしの
-  しあわせ

加古川市社会福祉協議会

『福祉』とは、ふだんの暮らしのしあわせのことです。  
 ふだんの生活では、たくさんの人に出会います。  
 赤ちゃん、子ども、障がいのある人、高齢者・・・等、いろいろな人のしあわせについて考えましょう。

子どもたちは、クイズ形式で、福祉について学んでいきました。

福祉に関するクイズ



加古川市社会福祉協議会

3択クイズにチャレンジしました。福祉に関する表示も学習しました。

いろいろな人が暮らしているね



加古川市社会福祉協議会

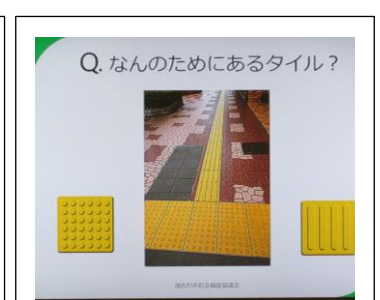
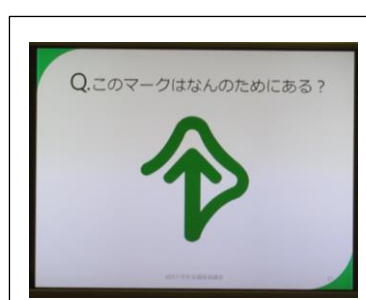
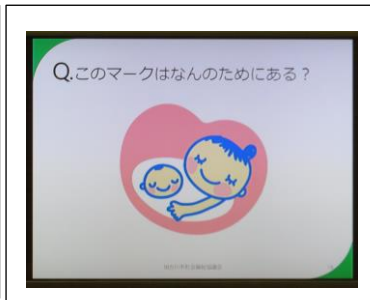
Q 何歳から高齢者というのでしょうか？  
 ①65才 ②70才 ③75才

【正解】①

Q エレベーターに乗ると、大きな鏡があるのはなぜでしょうか？  
 ①車いすの人が後ろ向きにエレベーターを降りる時に、後ろの安全を確認するため  
 ②髪形や身だしなみを整えるため  
 ③せまいエレベーターの中を広く見せるため

【正解】①

## クイズを解きながら福祉の学習を進めました



子どもたちは、熱心にクイズに参加することができました。

## バリアフリーとユニバーサルデザインについても学びました

### バリアフリー

- 「バリア」とは、何かのさまたげになる障壁（かべ）のこと
- 「バリア」を取りのぞき、<sup>かいてき</sup>快適な生活ができるようにすること

### ユニバーサルデザイン

- できるだけ多くの人にとって使いやすいもの

⇒バリアフリーとのちがい  
デザインの対象が  
**障がいのある人に限らない**

福祉について学んだあとは、体育館で、「車いす体験」を行いました。



子どもたちは、『福祉』について学び、その後は、実際に車いす体験を行いました。介助する側や介助される側になって、車いすの体験を行いました。車いすに乗っている人にとって、段差は大きな壁になります。この学びを、実生活の中で生かしてほしいと思います。